

	学科名	学年	教科	科目	単位数	教科書	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	産業・商業・海洋科	2学年	家庭	家庭総合	2	家庭総合（実教出版）					
	科目の目標										
1 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭、衣食住、消費や環境など、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付ける。 2 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見い出して課題を設定し、解決策を構想・実践、考察するなど、生涯を通して生活の課題を解決する力を養う。 3 様々な人々と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。											
月・考査等	単元名		評価規準			評価方法	補助教材	指導上の改善点など			
			知識・技能【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】						
4	家庭科を学ぶにあたって		・学習の意義や内容、学習方法や評価方法を理解する。					*授業は分野横断型で行う	○		
	第1章 これからの人生について考えてみよう	1節 自分の未来予想図を描こう～生涯発達と発達課題～ 2節 これからの人生をデザインする	・自分や人の一生についての考えをまとめることができる。	・人生の各ライフステージの特徴と課題を知り、自分の生活について考え表現できる。	・将来の生活設計を考えることに意欲的に取り組もうとしている。	・ワークシートの作成	・資料集 生活ハンドブック		○	◎	○
5	第2章 自分らしい生き方と家族	1節 自立と共生 2節 ライフキャリア 3節 共に生きる家族	・青年期の自立や男女平等と相互協力について理解している。 ・現代の労働環境、労働時間と生活時間との関係を理解している ・家族の多様化や変化する家族の役割について理解できる。	・自分の将来のキャリアや生活の設計を考え、ワークに表現することができる。	・男女共同参画社会など社会の現状について知ろうとする意欲がある。 ・労働に関して関心を持ち、労働と現在の家庭・家族がかかえる課題を見出そうとする。	・ワークシートの作成 ・ワークシートの作成 ・ワークシートの作成	・資料集 生活ハンドブック		○	○	○
中間考査											
	第4節 家族に関する法律	4節 家族に関する法律	・家族に関する法律に関する知識を身につけている。	・家族に関する制度や現代の家族に関する課題をグループワークで討議することができる。	・家庭生活と法律の関係について興味関心を持とうとしている。	・グループ討議	・資料集 生活ハンドブック		○	◎	○
	第6章 食生活をつくる	5節 食事の計画と調理	・栄養・食品・調理に関する基礎的な知識を生かし、献立を作成することができる。	・食品選択、栄養計算や献立作成など食事作りに向けて適切な判断ができる。	・調理実習においては、学んだ知識を生かし積極的に取り組もうとしている。	・実技実習	・資料集 生活ハンドブック		◎	○	○
6	第7章 衣生活をつくる	1節 人と衣服のかかわり 2節 衣服の素材の種類と特徴 3節 衣服の洗濯から管理まで 5節 私たちがつなぐ衣生活文化 4節 持続可能な衣生活をつくる	・衣服の起源と機能について理解している。 ・衣服の素材の種類や特徴について理解している。 ・衣類の購入から整理・廃棄まで計画的な衣生活を営む知識を身につけている。 ・日本の伝統的衣類と世界の多様な衣類の発達について理解している。 ・不要となった衣類の有効利用を実生活において実践できる。しくみについて理解している。	・衣服の用途によって、適切な衣服素材を考え判断することができる。 ・衣類の洗濯から管理までの知識を身につけ、実生活において適切に判断できる。 ・現代の衣生活を取りまく課題を導きだすことができる。	・衣生活の改善・向上に積極的に取り組もうとしている。 ・日本の伝統的衣類に対して関心を持ち生活に取り入れる意欲を持っている。	・ワークシートの作成 ・ワークシートの作成 ・ワークシートの作成 ・ワークシートの作成	・資料集 生活ハンドブック ・資料集 生活ハンドブック ・資料集 生活ハンドブック ・資料集 生活ハンドブック ・資料集 生活ハンドブック		○	○	○
期末考査7											
8	ホームプロジェクト 学校家庭クラブ		・家庭生活に関する課題を見つけ、具体的な解決方法を考え、実践することができる。	・自ら実施した課題と解決方法、その成果についてレポートにまとめることができる。		・レポートの作成	・資料集 生活ハンドブック		○	○	
課題テ											
9	第3章 子どもとかかわる	6節 衣服をつくろう 1節 子どもとは	・被服製作政策の基本的な技術を身につけ、日常生活に役立つ作品をせいさくすることができる。	・被服作品に、創意工夫しオリジナルのデザインを取り入れ、製作することができる。	・被服作品の製作に創意工夫をしながら、意欲的に取り組むことができる。 ・生命の尊さを理解し、自分の生育過程と将来を関連させ、学習しようとする意欲がある。	・被服作品の制作 ・ワークシートの作成	・資料集 生活ハンドブック ・資料集 生活ハンドブック		◎	○	○
10		2節 子どもの発達 3節 子どもの生活 4節 子どもをはぐくむ 5節 子どものための社会福祉	・子どもの心身の発達や特徴について理解している。 ・子どもの生活習慣やその特徴について理解している。 ・子育ての意義について理解している。 ・子どもの発達段階を考え、個々に応じて接することができる。 ・子どもの権利と福祉について理解している。	・子どもとのよりよいかかわり方について自分で考え表現できる。 ・赤ちゃんふれあい体験を通して、子育ての現状と考察をまとめることができる。 ・子育てにかかわる社会的課題に対するサポートについて考え、表現することができる。	・子どもを取りまく現状を知り、その課題の解決手段を考えようとしている。 ・赤ちゃんふれあい体験、子どもに積極的に触れ合い、子どもの特徴を理解しようとしている。 ・子育てにかかわる社会的課題について関心を持とうとしている。	・ワークシートの作成 ・ワークシートの作成 ・ワークシートの作成	・資料集 生活ハンドブック ・資料集 生活ハンドブック ・資料集 生活ハンドブック		○	○	○
中間考査											
	第6章 食生活をつくる	5節 食事の計画と調理	・栄養・食品・調理に関する基礎的な知識を生かし、献立を作成することができる。	・食品選択、栄養計算や献立作成など食事作りに向けて適切な判断ができる。	・調理実習においては、学んだ知識を生かし積極的に取り組もうとしている。	・実技実習	・資料集 資料集 生活ハンドブック		◎	○	○
	第8章 住生活をつくる	1節 人間と住まい	・住まいの役割・機能について地域の特性を踏まえて理解できる。			・ワークシートの作成	・資料集 生活ハンドブック		○		
11		2節 住まいの文化 3節 住まいを計画する 4節 健康に配慮した快適な室内環境 5節 安全な住まい 6節 持続可能な住まいづくり	・日本特有の生活様式と、住まいの特徴を理解している。 ・家族構成やライフステージに応じた住まいを考えることができる。 ・日照や通風など健康的な住まいの環境についての知識を理解できる。 ・住まいの安全対策を実生活に役立てることができる。 ・現代の住環境の課題について認識することができる。	・現代のライフスタイルに応じた住まいについて考えることができる。 ・ライフステージにあった住空間や住環境について考えを深めることができる。 ・適切な住まいの管理方法を判断することができる。 ・安全な住まいや快適な住環境のための課題解決のための方策を考えることができる。	・よりよい住生活の創造に向けて住空間の計画や住環境に関心を持ち意欲的に取り組もうとしている。 ・持続可能な住生活の質要請を意識し、住生活を充実させようとしている。	・ワークシートの作成 ・ワークシートの作成 ・ワークシートの作成 ・ワークシートの作成	・資料集 生活ハンドブック ・資料集 生活ハンドブック ・資料集 生活ハンドブック ・資料集 生活ハンドブック		○	○	○
期末考査12											
1	第6章 食生活をつくる	5節 食事の計画と調理	・栄養・食品・調理に関する基礎的な知識を生かし、献立を作成することができる。	・食品選択、栄養計算や献立作成など食事作りに向けて適切な判断ができる。	・調理実習においては、学んだ知識を生かし積極的に取り組もうとしている。	・実技実習	・資料集 生活ハンドブック		◎	○	○
	第9章 消費行動を考える	4節 ライフスタイルと環境	・環境に配慮した持続可能な消費の在り方について理解している。		・持続可能なライフスタイルを意識し、日常生活を送ろうとしている。	・ワークシートの作成	・資料集 生活ハンドブック		○		○
2	第10章 経済的に自立する	1節 暮らしと経済	・家庭経済国民経済のしくみを理解し、経済計画の重要性を認識できる。	・将来のライフイベントとその費用を考えることができる。	・経済のしくみを理解した上で、短期・長期の経済計画に意欲的に取り組もうとしている。	・ワークシートの作成	・資料集 生活ハンドブック		○	○	◎
学年末考査											
3		2節 将来のライフプランニング	・生活資源について理解した上で生涯を見通し、ライフプランを設計していくことの重要性を理解している。		・自らのライフプランの充実向上に向けて主体的に取り組もうとしている。	・ワークシートの作成	・資料集 生活ハンドブック		○		○